

令和3年度

高砂みなとまちづくり行動計画 取り組み概要

(2) 高砂産業ミュージアムづくり

短：短期(5年以内)に行う取組
短・中：短期から中期(10年以内)に行う取組
短・中・長：短期から長期(10年以降)に行う取組
取組カルテのページと番号

ゴシック体は「中心となる主体」
明朝体は「連携する主体」

	基本方針の展開方向	施策メニュー	短・中・長	取り組み		実施内容	評価
				主体	取り組み内容		
高砂産業ミュージアムつくる	1 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援	① 港湾機能、道路などの社会基盤の充実	短・中 P13 No.1 0	国、県、市	・播磨臨海地域道路の具体化に向け、ルート、道路区分等について引き続き検討する。	令和2年6月に、近畿地方整備局より加古川内陸ルート帯が示された。現在は、ルート決定に向け国による環境影響調査や用地調査等が進められている。 市は、住民や地元企業が利用しやすいルートの要望や早期着手に向け、兵庫県や関係市町と連携を図り、国に対する働きかけを行っている。	B
			短・中 P13 No.1 1	県	・地球温暖化ガスの排出削減に寄与する海運へのモーダルシフトなど、利用者の意見を聞きながら港湾利用向上策を導入する。	県営クレーンの設置に向け、県によるクレーン導入及び運用検討を進めている。	B
				県、市	・市内外企業等への需用調査や東播磨港へのポートセールを行う。	東播磨港における利用者ニーズ等を把握するため、県がヒアリング調査等を進めている。	B
			短・中 P13 No.1 2	県、協議会、市民、企業	・景観保護と清潔なまちをつくるため、市民主体による美化活動を展開する。	国土交通省、県、商工会議所、地元企業、市及び市民のボランティアによりリフレッシュ瀬戸内を年1回実施している。	A
	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出	① 産業ツーリズムの推進による企業技術や産業遺産のPR	短・中 P14 No.1 3	企業、関係団体、市	・地元企業による理科教室や工場見学等を開催する。	キッコーマン食品(株)高砂工場、サントリープロダクツ(株)高砂工場、(株)カネカ高砂工業所等により、工場見学を実施している。※また、(株)カネカ高砂工業所では小学生を対象とした理科教室を年1回開催している。(※) コロナ感染拡大により現在休止中。	A
			短、中 P14 No.1 4	関係団体、企業、県、市	・ツーリズム推進組織にて、コース設定、企業技術や事業変遷等の公開、教育の場としても活用する取り組みを行う。	東播磨産業・ツーリズム協議会を中心に、市と商工会議所、観光交流ビューロー、企業等の連携により、産業ツーリズム推進全般の取組を行っている。 観光交流ビューローが、観光ガイドボランティアを育成し、連携・協力して、堀川地区を中心にコース設定とガイドを行っている。また、工楽家旧宅を活用して歴史講座を実施した。	B
			短、中 P14 No.1 5	市、関係団体	・竜山石、高砂染め、松右衛門帆のPRをする。	観光交流ビューローが、ホームページやポスター・チラシ・ワークショップの実施により情報発信している。 また、市外・県外で開催される観光物産展、各種イベントに商品持参で参加し、PRを行っている。	A
		② 規制緩和などのソフト施策による産業誘致・支援	短・中 P14 No.1 6	関係団体、市	・空き店舗の実態調査を行うとともに、空き店舗活用方法等についての協議を行う。	市において、平成28年度に空き家等の実態調査を行った。 商工会議所が中心となって、市や事業者と連携、協力しながら、シェアオフィスやサテライト機能としての空き家・空き店舗活用に取り組み、クリエイティブ産業の誘致を目指している。(LINCプロジェクト ※) ※ LINCとはLead the Intelligent Network in Creative industry の略	B
		③ 高砂駅前再整備	短・中 P15 No.1 7	市、関係団体、企業、県	・高砂駅前再整備について、関係団体等と整備イメージ等を検討し、実現に向けた協議を行なう。【新規取組】	平成30年7月に高砂駅南地区まちづくり協議会が設立され、高砂駅南周辺整備の実現に向けて、協議を進めている。	B
					・高砂駅前再整備方法等について協議を行い、整備を進める。【新規取組】	市は、高砂駅南地区まちづくり協議会の意見を聴き、平成30年度に高砂駅南地区まちづくり構想を策定し、令和元年度に高砂駅南周辺整備基本計画策定した。 令和3年11月に、地権者を対象とした説明会を開催した。	B

A：完了・目的達成 B：継続中 C：実施せず

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったものも含む